

平成 27 年度 第 2 回夕張市地域公共交通協議会 議事概要

日 時：平成 27 年 10 月 22 日（木）10:30～11:30

場 所：夕張市役所 4 階 会議室

資 料：別紙のとおり

1 開 会

2 挨拶

会長より挨拶

3 報告事項

(1) デマンド交通実証実験経過報告について（資料 1）

- ・事務局より資料 1 の説明
- ・内容に関する質問等なし

(2) 公共交通ガイドについて（資料なし）

- ・10月1日のバスダイヤ改正により公共交通ガイドの更新をする旨を報告
- ・会長より夕張鉄道㈱に対し、ダイヤ改正の改正点の説明を求め、夕張鉄道㈱から夕鉄本社バスターミナル発由仁駅経由新さっぽろ駅前行きの利用者減少による減便、夕鉄本社バスターミナル発由仁駅経由新さっぽろ駅前行きの始発と終着を利用者利便を図るため清水沢地区からの発着に変更、発着地変更に伴い札幌急行接続便の廃止との説明があった。

4 協議事項

(1) デマンド交通実証実験利用者アンケートについて（資料 2）

- ・事務局より資料 2 の説明
- ・委員より乗降調査は実施するののかとの質問があり、運行を委託している夕張鉄道㈱からの報告事項となっている旨を説明。
- ・委員よりどこからどこまで乗ったのか、何回利用したのかも調査すべきとの意見があった。

(2) 清水沢駅の無人化に対する対応について（資料 3）

- ・事務局より資料 3 の説明
- ・内容に関する質問等なし
- ・会長より J R 北海道に対し、駅の無人化や廃止で終わりではなく、その後も様々な面で地域に協力してくれるよう要請し、清水沢駅無人化対策もしっかりと進めるよう要望した。

5 その他

(1) JR夕張支線の現状と方針について（JR北海道発言）

- ・安全性を最優先に取り組んでいる中で施設や車両の老朽化が進んでいる等の問題があり、事業の見直しを進めている。

9月30日の社長記者会見で利用の少ない列車の見直しについて発表しており、支線の主力車両の気動車の老朽化により廃車せざるを得ない状況であり、残った車両でダイヤ設定しなければならない。

夕張支線の利用者は40年前と比較して20分の1、平成7年と比較しても3分の1となっている。

減便の案について、上り（夕張発）が現行9本あるが、朝の通勤時間帯の確保と利用状況を勘案して、9時41分発、13時31分発、18時15分発、22時02分発を減便させてもらいたい。

下り（夕張着）も現行9本あるが、同様に朝の通勤時間帯の確保と利用状況を勘案して、9時32分着、13時23分着、17時52分着、21時54分着を減便させてもらいたい。

現在、社内で検討している案について示したもので具体的ダイヤとして正式に決定したものではない。

正式な発表については、冬頃に行う予定であり、詳細が決まり次第、説明していく。

- ・委員からの減便対象は利用状況による組合せなのかの質問に対し、利用状況と往復の運行を考えた組み合わせとしたと回答があった。
- ・委員からの減便は全道的なものなのかの質問に対し、全道的に見直しを進めているところであると回答があった。
- ・委員から老朽車両の更新をしていくのかの質問に対し、置き換わる車両の試作車を作って、量産していかなければならないと考えているが、今の状況では見直しをしていく必要があると回答があった。
- ・委員から最終的にバス代行となるのかの質問に対し、どうしていくかは地域と一緒に考えていくことではあるが、車両の老朽化だけでなく構造物の老朽化の問題もあり、構造物の老朽化については、清水沢・南清水沢間にある第8志幌加別川橋りょうと鹿ノ谷・清水沢間にある稚南部トンネルの老朽化が特に進んでいる状況にあり、将来にわたって列車を運行していくには抜本的な対策が必要な状況にある。

第8志幌加別川橋りょうは完成からほぼ100年経過しており、橋台や橋脚は継続使用可能な状態だが橋桁の鋼材の腐食が見られる状況のため、対策には概算で橋桁の交換に90百万円必要となる。

稚南部トンネルも完成からほぼ100年経過しており、レンガの劣化や漏水して冬に結氷するような状況のため、トンネル内面への補強と路盤の入れ換えて概算650百万円

必要となる。

この2つの構造物対策費用だけで約7億円が必要であり、その他にも経年がほぼ100年の橋りょうが13橋あり、いずれも老朽更新が必要な状況であると回答があった。

- ・会長より施設の老朽化が進めば安全性の確保ができなくなるが、将来的には廃線も視野に入れているのかの質問に対し、夕張支線の廃止について社内で意思決定したものはない。

当面は点検、保全、改修により安全性を確保して運行するが、このままでは列車を走らせなくなるという状況も起こりうるので、そういうことも含めた検討をしていく必要があるとの回答があった。

- ・委員から今後の方針とどれくらいもつのかという質問に対し、今日、明日、来月に走れなくなるということはないと考えており、点検、保全により安全基準を満たして運行していく。根本的対策は単独で実施するには経営的に厳しいが、夕張市の交通体系を良くしていく方策を一緒に考えていきたいとの回答があった。
- ・会長より利用者への丁寧な説明と最大限の配慮をお願いし、地域交通を担う事業者として地域にとって最良の交通とは何かをともに議論していただきたいと要望した。

6 閉会

以上